

意識的に、能動的に、自発的に考えて
仕事をするようになりました。

南澤建設株式会社

■〒377-8585 群馬県渋川市渋川2070-21

■TEL.0279-22-2673

■<http://minamisawa-kk.co.jp/>

●総務部経理課長 灰野 晴枝さん



Q 灰野さんが取得した育児支援制度について詳しく教えてください。

A 産休と育児休暇、更に子どもが1歳になって復帰した後に短時間勤務を利用しています。1年目は朝1時間遅く出社し、夕方1時間早く退社しました。2年目の現在は、朝だけ自分で保育園に送っていきたくないので、1時間遅れて出社しています。制度を取りやすい環境でした。

転職してきたのですが、入社時に取締役経理部長でいらした女性の先輩がいて、「うちの会社は子どもが出来ても仕事が続けられる会社だから、安心して定年まで勤めてね」と言われました。尊敬できる上司の方でした。それもあって、産休・育児や時短を活用しながら、働こうと思えました。社内にもこのような雰囲気があるのでですね。若い頃は子どもが出来たら自分の手だけで育てようと思っていましたが、この会社で働くうちに変わりました。

Q 仕事上で周囲の方々からのサポートはありましたか？

A 周囲の人に協力してもらわないと、今は成り立たないですね。皆には迷惑かけていると思います。いつも感謝しています。育児明けからは、時間内で仕事を終わらせるために、仕事の能率が上がり、効率的になったと思います。集中度合いも以前とは違っていると思います。それでも時間内に終わらないと

思った時は、早い段階で周りの人をお願いします。朝も遅く来る、掃除もしない、夕方も定時に終えるので鍵当番もできません。普段からみんなと友好的に話をし、仕事外でも人間として話せるような関係を大切にしています。人間関係がとても大切だと思っています。また、上司からのサポートも大きいと思います。

Q 管理職となって仕事に対する心構えは変わりましたか？

A 若いころは一般事務が嫌で、専門的な技術を身につけて、一生仕事をしていきたいと思っていましたが、歳を重ねて総務的な仕事の大切さに気づきました。自分の役職が上がるにつれて、責任のある仕事を任せられるようになり、意識的に、能動的に、自発的に考えて仕事をするようになりました。また、業績の良し悪しを実感し、こういう努力をして良くなったという達成感も得られ、逆にもっとこう改善して良くしていこうと考えたりできるようになりました。

Q 仕事をするうえでの家族のサポートは？

A 今はなるべく仕事も定時で切り上げて、一刻も早く家へ帰って、家事はなるべく手早く済ませて、子どもと一緒に遊ぶ時間を作るようにしています。夫はいろいろ協力してくれます。洗濯、洗いのもの、後片付け、週末は布

団干しもしてくれます。すごく協力的なので、頼まなくても自発的に自分から動いてくれて、とても助かっています。また一方で、「俺も仕事に頑張ろう」というような、言葉には出さないけれど、そういう空気を感じますね。まずまず、仕事にも没頭しています。

学生の声

灰野さんのように、仕事と子育てを両立できる女性になりたいと思いました。周囲からサポートしたいと思えるような存在になる為に、自分に出来ることを一生懸命にして、常に感謝の気持ちを忘れない事が大切だと感じました。誰でも働きやすいと感じる環境が増えていき、そういった場で私達も活躍していきたいです。



(左) 専務取締役 南澤浩基さん
(右) 灰野さん